

<第1分科会> センタービル8階・0801教室

核兵器廃絶をめざして～世代を超えて医師の役割を考える～

◇日時:10月23日(日)10:00～13:50

◇司会・運営担当:深沢尚伊氏(「核戦争に反対する医師の会」常任世話人・群馬)

長田芳幸氏(「第16回反核医師のつどい」実行委員・愛知)

◇まとめ報告担当:久野 洋氏(「第16回反核医師のつどい」実行委員・愛知)

◇タイムテーブル

9:00 肥田舜太郎氏講演(50分)…2階ヤマテホール

※ 終了後8階・0801教室へ会場移動

10:00 分科会開会

10:00 新原昭治氏報告(55分)「アメリカの核戦略と日本の役割」

11:00 パネルディスカッション開始

11:00 青木淳氏報告(20分)

11:20 原和人氏報告(20分)

11:40 質疑および討議(20分)

12:00 昼食(45分)

※ 昼食の間に、発言通告・質問用紙を配布いたしますので、発言および質問がある方は、ご記入の上、担当事務局に渡してください

12:45 分科会後半開始

12:45 質疑および討議(5分)

12:50 高草木博氏発言(15分)

13:15 質疑および討議

13:50 終了

参考資料

筋昭三氏作成年表(一部補足)

医療人のための平和テキスト

「核のない世界へ～第5章世界と日本の医師・医学者たちの平和への貢献」

* 書籍コーナーで販売しています

報告者のプロフィール紹介

にいほらしょうじ
新原昭治氏

1931年生まれ、福岡市出身
長崎放送記者をふりだしにジャーナリストとして活動
国際問題研究者
非核の政府を求める会核問題調査専門委員・日本原水協専門委員

著書

『「核使用計画」を読み解く—アメリカ核戦略と日本』(野呂栄太郎賞受賞)*
『アメリカ核戦略と日本』、『米政府安保外交秘密文書』[編訳]
『あばかれた核密約』、『アメリカの戦略は世界をどう描くか—「ならず者国家」論批判』
『戦争と平和の問題を考える』*、
『資料集 20世紀の戦争と平和』[吉岡吉典氏とともに共編]
ほか(いずれも新日本出版社)
*印は書籍コーナーで販売しています

あおきじゆん
青木淳氏

生活協同組合 ヘルスコープおおさか、コープおおさか病院医師
詳細は報告の中で紹介します

はらかずと
原和人氏

「核戦争に反対する医師の会」常任世話人、全日本民医連副会長

たかくさきひろし
高草木博氏

シンポジウム報告者の略歴をご覧ください

第1・2分科会共通講演「医師としての被爆体験を語る」講師紹介

ひだしゆんたろう
肥田舜太郎氏

1917年、広島市生まれ。1944年、陸軍軍医学校卒。軍医少尉として広島陸軍病院に赴任。1945年8月6日、原爆被爆。被爆者救援にあたる。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)の創立に参加。全日本民医連理事、埼玉民医連会長、埼玉協同病院院長などを歴任。現在、全日本民医連顧問、日本被団協原爆被爆者中央相談所理事長。この間、海外渡航32回のべ33カ国で被爆の実相を語り、核兵器廃絶を訴える。

著書

『広島の消えた日』(日中出版)、『ヒロシマ・ナガサキを世界へ』(あけび書房)、
『ヒロシマを生きのびて』(あけび書房)